

指定管理者モニタリングレポート（令和7年度）

作成日 令和8年6月11日

施設名	中之島公園(リバーポートパーク美濃加茂)	
所在地	岐阜県美濃加茂市御門町2丁目6番6号	
指定管理者	名称 中之島公園利活用共同体 代表者 水口 晶 住所 岐阜県美濃加茂市御門町2丁目6番6号	
指定期間・選定方法	令和5年4月1日から令和12年3月31日まで	公募・非公募(任意指定)
モニタリングの実施方法等	対面	
担当課 (問合せ先)	美濃加茂市役所 土木課	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- ・利用者数は酷暑と10月繁忙期の天候不順等が大きく影響し、目標19万人に達することができず、17.6万人となった。
- ・各自主事業ではアルバイトの人員配置や長く働いてもらえる環境整備、仕入先の見直しや仕入れタイミングの工夫など業務の改善を引き続き行っていく。
- ・12月からキャンプの常用利用の社会実験をスタートし、令和8年度もゆるキャンフェスなど新たな取り組みを実施し、顧客獲得を進めていく。
- ・施設管理については、経年劣化に伴い今後増えていく修繕費に対して、初期段階での改善を試み大きな出費を防いでいく。
- ・毎朝の掃除の時間に屋外トイレ清掃や草取りなどをルーティン化してカバー。草刈りも計画的なスケジュールリングで、今いるスタッフで対応していく。
- ・自主事業について、冬のキャンプなど、新たな切り口で集客を試みたが、冬の集客が課題となっている。また酷暑対策も行っていく必要がある。

①経営分析に関すること

【自主事業】

BBQ：夏季営業は前年度と比較し、酷暑の影響が集客が若干減少しており、また冬季営業がかなり苦戦した。令和8年度は酷暑対策、冬季営業に向けた対策を行い、集客力を上げていく。

【中之島公園利活用共同体事業】

・事業費の支出が計画より多い結果となった。不足分(200万程)は自主事業の利益より捻出した。

②事業計画・実施事業に関すること

・ウォーキングイベントやサンタの謎解きイベントなどのクリスマスイベントなどを実施できた。また12月からキャンプの常用利用の社会実験をスタートした。

③経理に関すること

・会計管理体制については適正に実施されている。

④施設管理に関すること

・河川の増水など大きな災害もなく1年が終わることができたが、施設内で落書き等、保全や警備の課題が出た。他施設の対策事例や防犯カメラの増設等検討が必要。

・日々の施設点検の結果から細かな修繕で対応できているため今後も継続的に実施していく。

⑤サービスに関すること

・ドッグラン利用者から「小型犬が脱走できてしまう状態である」と苦情が入ったため、隙間をうめて対策した。またBBQ利用者のアンケートから「暗くて焼けているかどうか見えない」との意見があったため、デッキサイトに電気を敷設し、対策した。

⑥その他

・蜂やマムシなどが近隣で発見されているため、注意喚起や駆除を行っていく。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和7年度)

総合評価	A
------	---

実施日 令和8年5月15日

担当課 土木課

対象施設	中之島公園	選定方法	公募・非公募(任意指定)
設置目的	木曽川の自然を保全しつつ、人々が水辺や森など公園周辺の自然に親しむ場として、また、街を散策する際の拠点として、憩いと集いの空間を提供する施設。		
指定管理者名	中之島公園利活用共同体	指定期間	2023.04.01～2030.03.31

総括	A	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価
① 経営分析	事業収支(円)	11,181,223 (粗利)	19,802,769 (粗利)	9,762,937 (粗利)	20,888,013 (粗利)	27,221,156 (粗利)	A
	利用料金比率(%)	0.56%	0.84%	0.86%	0.87%	0.88%	B
	自主事業収入比率(%)	82.45%	83.89%	80.92%	81.08%	80.28%	A
	人件費比率(%)	35.33%	39.20%	37.99%	36.29%	35.81%	A
	外部委託費比率(%)	1.12%	1.115%	1.45%	0.76%	0.85%	A
	利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	633 円	408 円	621 円	503 円	465 円	B
	利用者1人当たりの市負担コスト(円)	123 円	89 円	108 円	112 円	127 円	A
	施設1㎡当たりの利用者数(人)	91 人	130 人	129 人	134 人	127 人	A

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			B	来場者数は市が設定した水準は超えたが、指定管理者が設定した目標は達成できなかった。計画にあった事業に加え、キャンプ場の常用運用を12月よりスタートした。
2	収支計画との整合性はあったか			A	事業費の支出が計画より多い結果となった。不足分は自主事業の利益より捻出した。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	適正に運営できている。
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか			B	適正に整えられている。
5	公共性・公平性が保たれていたか			B	公平性は保たれていた。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			A	改善指示や要望は事業に反映されている。

7	自主事業は適正に実施されていたか	B	R6 からイルミネーションやドッグランを設置し、新たな切り口で集客を試みているが、昨年同様冬の集客には苦戦を強いられている。
---	------------------	---	--

③経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	適正に管理されている。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			A	事業費の支出が多い結果となった。不足分は自主事業の利益より捻出した。
3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分して管理されていたか			B	明確に区分して管理されている。
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか			B	適正に記載・管理されている。
5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			B	帳簿にて管理されている
6	現金は適正に管理されていたか			A	鍵付きのロッカー、金庫にて保管されている。高額な現金は置かないこととしている。

④施設管理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			A	適正に実施した。トイレの定期清掃や、施設周辺は手狩りで草刈りを実施している。
2	清掃は確実に行われたか			A	R5 から回数を増やし、清掃を確実に実施した。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			A	キーボックスにて管理されている。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	LINEグループを活用するなどして整えている。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			A	年 2 回の防災訓練時にスタッフに共有している。
6	備品は適切に管理されていたか			B	備品に名前シールを貼り、適切に管理されている。
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			B	適切に行っていた。

⑤サービスに関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			A	12月からキャンプの常用利用をスタートさせたり、リバポ縁日などの参加費無料で気軽に参加できるイベントを開催するなどした。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			A	アンケートを取り、苦情には早急に対応するようにしている。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			A	アンケートを集計し、データで保存している
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			A	HP、ブログ、FB、インスタ、LINE、X、Googleを利用し、PRを行っている。インスタのフォロワーは 10000 人を超えた。
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			B	適正に行われている。

6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか	A	隔週でミーティングを行いアンケートの内容なども精査している。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか	A	アンケートにてスタッフの対応の良さについて高評価をいただいている。
8	経費削減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか	A	安売りしているときに一括購入するなどして安価に仕入れるよう努力している。

⑥その他		総括	A	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			A	視察対応に協力し、情報を共有されていた。
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			B	適正に管理されていた。
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	11月に川の清掃活動を実施した。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	必要な保険に加入している。また火災保険の更新を行った。
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか			B	安全第一を基本としている。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか			B	適切な配慮ができており、物価高に対応するため賃上げを行った。管理職は課題である。
7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか			A	市民団体と連携を図りイベントを実施した。
8	市と連絡を密にしていたか			A	担当者との連絡は密に行っている。毎月報告書を提出している。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出 ※自主事業収支を含む	事業全体が黒字であるかを確認し、経営努力を評価する。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価する。
◆自主事業収入比率(%)	自主事業収入／収入×100	収入に占める自主事業収入の割合。指定管理料のみに依存していないか、収入増加に努めているかなどを評価する。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価する。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に依存しすぎているかを評価する。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認する。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価する。

◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であることを確認する。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価する。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認する。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価する。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

令和8年 5月15日

指定管理者名	中之島公園利活用共同体	担当課	土木課
指定期間	2023.04.01～2030.03.31	選定方法	公募・非公募(任意指定)
施設名	中之島公園	施設の種類	都市公園
所在地	美濃加茂市御門町 2-6-6		
設置根拠条例等	美濃加茂市都市公園条例		
設置目的・役割	木曽川の自然を保全しつつ、人々が水辺や森など公園周辺の自然に親しむ場として、また、街を散策する際の拠点として、憩いと集いの空間を提供する施設。		
実施事業	指定管理(園地及び施設等運営業務・維持管理業務・自主事業(カフェ、BBQ、川のアクティビティー)・その他の業務)		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	29,476.56 m ² ※指定管理区域		駐車場 台数	180 台			
	内借地面積	0 m ²	契約期間			借地料		
建物	設置形態	市所有 —賃貸借—	契約期間			賃借料		
	建物の内容	自然環境体験学習館(ビジターハウス)、手洗い兼倉庫、多目的倉庫(ホワイトドック)、シャワールーム、屋外トイレ等						
	主要な建物の 建築年月	2018.03		取得 時期	2018.03			
	延床面積	1,384.08 m ²		構造	木造		階数	2 階建
	耐震基準	総合耐震計画 基準 II 類	耐震 診断	-	耐震 補強	-	Is値	-
	ユニバーサル デザイン化 状況	実施 —部実施— —未実施—	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他
			有-無-	有-無-	有-無-	有-無-	有-無-	
	大規模修繕 実施状況	なし						
留意事項	なし							

3. 管理・運営の現況

開館日数	308 日	休館日	毎週火曜日 ※国民の祝日に当たるときは、その翌日	開館時間	9:00～17:00 ※カフェ 10:00～19:00 ※BBQ 11:00～21:30 ※アクティビティ 8:30～17:00
職員数等 管理体制	統括管理責任者 1名 受付案内担当者 1名				企画・庶務担当者 1名 維持管理スタッフ 2名

4. 施設の維持管理コスト等

市の 収 支 状 況	(単位:円)		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和7年度
	支 出	支出合計	16,162,962	16,863,945	19,315,500	20,900,037	22,439,950
		人件費					
		修繕料・工事請負費	710,000	882,000	324,500	2,421,037	4,107,950
		光熱水費					
		委託費・指定管理料	15,452,962	15,981,945	18,991,000	18,479,000	18,332,000
		賃借料					
		その他					
	収 入	収入合計	2,378,400	2,378,400	2,378,400	2,389,920	2,389,920
		使用料・手数料	2,378,400	2,378,400	2,378,400	2,389,920	2,389,920
		その他業務収益					
		業務関連収益					
指定 管 理 者 の 収 支 状 況	(単位:円)		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和7年度
	支 出	支出総合計(a+b)	79,744,271	86,627,286	101,803,488	93,643,874	81,848,690
		支出合計(a)	17,476,791	19,259,450	21,287,523	21,624,336	21,509,472
		人件費	6,691,955	7,147,510	9,435,193	8,542,500	8,545,000
		事業費	616,127	644,572	1,252,325	1,577,201	677,026
		維持補修費	4,828,667	5,078,149	4,892,715	5,188,437	5,983,998
		光熱水費	2,753,602	3,692,808	3,132,986	3,378,350	3,421,511
		保守点検等委託費	891,330	849,860	621,280	691,900	686,400
		その他	1,695,110	1,846,551	1,953,024	2,245,948	2,195,537
		自主事業支出(b)	62,267,480	67,367,836	80,515,965	72,019,538	60,339,218
	収 入	収入総合計(c+d)	90,925,494	106,430,055	111,566,425	114,531,885	109,069,846
		収入合計(c)	15,959,492	17,150,763	21,287,523	21,669,021	21,509,472
		指定管理料	15,452,962	15,981,945	18,991,000	18,479,000	18,332,000
		利用料金	497,300	1,168,790	959,800	1,000,800	964,600
		その他	9,230	28	1,336,723	2,189,221	2,340,472
		自主事業収入(d)	74,966,002	89,279,292	90,278,902	92,862,864	87,560,374

5. 施設の利用状況

		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		
開館日数		307 日(271 日: 貸ホール開館日 数)		309 日		309 日		310 日		308 日		
年間来場者数		125,898 人		180,435 人		179,028 人		186,145 人		176,109 人		
ホール利用件数		214 件		332 件		358 件		403 件		418 件		
ホール利用者数		1,832 人		2,819 人		4,554 人		7,841 人		7,975 人		
シャワー利用者数		927 人		1,958 人		1,797 人		1,571 人		1,331 人		
部 屋 別	名称	大ホール				平日	22.7%		土日祝	59.1%		
	午前	47.8%		午後	37.3%		夜間	-		計	41.3%	
	名称	小ホール				平日	7.4%		土日祝	47.0%		

稼働率	午前	25.0%	午後	26.0%	夜間	%	計	25.6%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	BBQ	利用者数等	9,698 人
	事業内容	食材提供型スマートバーベキュースタイルを採用したサービス提供、早川青果さんから地元の新鮮な野菜や、SUMPO さんからこだわりの野菜など地域ブランドを積極的に取り入れ発信している。		
	事業名	アクティビティ	利用者数等	2,124 人
	事業内容	ラフティング、カヌー、SUP など木曽川での体験プログラムを実施		
	事業名	カフェ(DELT A)	利用者数等	13,661 件 32,384 品目
	事業内容	50cm のピザを目玉にしたカフェサービスを提供、コクウコーヒーの豆を使うなど、新たな地域ブランドの発信に貢献。お客様のニーズに合わせ随時メニューを更新・追加している。		
	事業名	リバポフィットネス	利用者数等	168 件 879 人
	事業内容	フィットネスに関する教室等を精力的に推進。		
	事業名	各種イベント	利用者数等	86,457 人
	事業内容	地域団体と連携したイベントを実施しており、まちづくりの一翼を担っている。他のイベントにも準備片付け、交通整理等協力的な対応をしており、イベントの増加に貢献している。		
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	民間の知恵と工夫により、来場者に質の高いサービスの提供ができています。
コスト面	通常の維持管理コストに比べて低い価格で、適正な維持管理がなされている。
利用者数・稼働率	年間来場者数については、176,109 人の来場者となった。R6 年度は 186,145 人であったため、昨年度より減少している。夏場の来園者が減少しているため、水場や日陰を増やすなど対策を検討していく。
事業実施状況	計画通り事業を実施している。
地域との協働等	地域団体、地域住民と連携したイベントなど、各種取組が実施されている。
その他	季節ごとの設えや SNS 等を利用し情報発信に力をいれており、ファミリー層や女性を中心に多くの来場者で賑わっている。